

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ

承認 1982年 8月24日

例会日 火曜日 12:30

例会場 愛知厚生年金会館

事務局 ☎763-5110

会長 加藤敏昌

幹事 青山敏郎

会報委員長 小池 宗

No. 43

ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは希望をもたらす

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第237回例会 昭和62年 5月12日(火) 雨

- ◇ “君が代”
- ◇ “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 57名 出席 34名
出席率 59.65%
前回 4月28日 (修正出席率)98.25%

◇ビジター紹介 9名

◇お誕生日祝福

佐野夫人(4/29)、太田君(5/15)

◇ニコボックス

久保田 皓君 バッチを忘れました。
竹内 真三君 敦煌までかけ足で行って参りました。
佐野 寛君 夫人誕生日祝い。
太田 茂君 誕生日祝い。
安藤 銀之助君、黒須 一夫君 結婚記念日祝い。

◇青山幹事報告

1. ロータリーの友5月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇加藤(敏)会長挨拶

先回は抗癌剤をいかに少量かつ持続的に使うかという事を特殊な例をあげて御説明申し上げましたが、本日は放射線の癌に対する特殊な治療法をお話しします。高圧酸素療法は放射線の癌に対する感受性を高める目的と共に抗癌剤のある種のものとは多量の酸素を与えることにより、その作用が増強されます。原体照射法とはX線照射をコンピューター制御し癌の原体に忠実に照射する方法で治療条件に従って線量分布を計算し、その結果をCT画像に重ねて表示し治療を行います。速中性子線療法とはX線やγ線は酸素の少ない所では効果が弱く、更に癌細胞の中心には酸素が少ない事が分かって参りましたので、サイクロトロンを使って中性子を原子核の中から飛び

出させて猛スピードで癌にぶつける治療方法です。更にレーザーによる治療方法も有りますがこれには主に炭酸ガス・アルゴン・Nd-YAGが使われます。以上、申し上げた治療の概要は「スライド」で御説明しました。

◇講演

“私と芸”

名妓連組合長

西川 喜久 さん (紹介 鈴木君)



大正12年6月1日に住吉町の芸妓置屋の娘として芸者になるために生まれた。

この世界では、6才の6月6日に芸事を始めると上達をするという習わしがあるので、私も西川右近先生のお母様である西川しづ様に入門させてもらった。

私は祖父母にかわいがられて育てられ、その当時の愛情表現は物を食べさせることと想っていたため、言われる通りにしていたらみるまに太ってしまい学校一の体重で小学校を卒業。そして待ちに待った芸子になった。親たちは何とかきれいに見せようという着物を着せてくれたが、体重が70kgくらいあったのでまるでデコレーションケーキの様であった。その頃人気絶頂の“照国”という関取があり、

お膳を持ってお座敷に入ると「よっ照国」と言われひやかされ、それがその頃の唯一の悩みだった。

第2次世界大戦では、高級料亭が閉鎖されることになり、愛知県から慰問隊を作るように言われ私もそれに参加し、軍事工場や軍隊へ終戦までの間慰問に行っていた。8月に終戦を迎え、今までよく頑張ったということで、戦争前の様な厳しい試験もなく11月には西川の名をもらうことができた。

第1回の名古屋踊りの会が柳橋で行われたが、同期の者には役がつくのには自分にはまったく役がつかず、思いきって家元に相談すると、「女形だけが役ではないのだから短所を長所に変えろ」と言われ、悩んだ末にこの太い体をいかして三枚目になろうと決心した。第2回の名古屋踊りの会が御園座で行われた時、「おなつのまごう」という役で主役を引き立てるあわれな三枚目だった。普通のこの役は役者がやるもので芸者が演じるのは前代未聞であった。当日、西川流のスポンサーである出光興産の創始者が東京から観に来ており、家元の言うことを聞きこの役をやるという精神が素晴らしいとはめられ、東京に来るように言われ、稽古に励んだが、お酒の飲めない私にとってはなかなかうまく演じられずどうにでもなれという気でお酒を飲み死ぬ思いをして、酔っぱらいの穿田気をつかみ東京へ向かった。

東京では、半年がかりで「名古屋の芸者がまごうの役をやる」と宣伝してあったので料亭のおかみや芸者衆、裏方までが目をひかせて見ようとしていた。私は無我夢中で演じ、終わった後男衆達が「お姉さん見事でした。立派でしたよ。」と言われ、始めて成功したんだと実感した。その時、うれしきで男衆達に最敬礼した。芸者が男衆に頭を下げる事は、なったばかりの芸者でもそんなことはしないらしく、評判になり、「きくちゃん、きくちゃん」とみんなにかわいがられるようになった。それ以来、身分不相応と思われるような役までもらえるようになり、今日まで私は芸に感謝して、芸子としてやらせてもらっている。

今では、名古屋に3,000人もいた芸者が100人たらずになってしまったことが大変残念で、みなさんの協力でもっともっと増えることを願っている。

(文責 小池)

◇RIニュースより

新たに二つの財団奨学金

新たに全世界を枠とする競争制の財団奨学金として日本プログラム奨学金が設けられ、

20人の奨学生が選ばれることになりました。財団管理委員会が地区確認の申請者の中から合格者を選びます。この合格者は、最初に、1988年7月より9～14か月間、東京の国際基督教大学(ICU)で語学力強化研修を受けなければなりません。次いで、1989年4月に、この人達は、日本の大学で1学年度、正規の研究に進むこととなります。研究期間は併せて21か月を超えてはなりません。

候補者は、日本語の素養のほか、次のような基準に基づいて審査されます。一つは、以前にアジア/日本文化に最低限触れたことがあるかどうか、二つ目は、学業上または専門職業上、日本で学ばなければならない積極的必要性、三つ目は、奨学期間終了後はアジア文化について獲得した知識を活用できるかどうか、であります。

また、国際平和奨学金という競争制の奨学金も設けられることになっています。ロータリーの地域それぞれから1人ずつ計6件の奨学金です。管理委員会を選んだ合格者は、英国、西ヨークシャー州のブラッドフォード大学平和研究学部で、「平和問題および紛争解決に関連した研究」に従事することになります。この人達は、学年度中、通常の責務を果たすとともに、国際関係と世界平和のいずれか、または、両方の一面に関する報告書兼論文をR.I.に提出しなければなりません。R.I.会長はこれを検討し、出版できるかどうか、また、ロータリー行事で講演できるかどうか判断します。

両奨学金に対する候補者は、他の五つの財団奨学金と同一の申請資格と条件を満たすことが必要です。クラブが申請書を受理する最終締切日は、1987年7月15日です。詳細については、地区ガバナー、地区財団委員会委員長、地区奨学金小委員会委員長に照会して下さい。

◇例会変更のお知らせ

豊山一城北R.C 5/26(火)夜間例会の為、PM
6:30より
6/2(木)家族会の為、5/31(日)
に変更
名古屋和合R.C 6/3(水)F.S.M.の為、井清寿
にてPM5:30より

◇次回例会(5月19日)

講演 “寺社建築”
会員 魚津 常義 君

◇次々回例会(5月26日)

講演 “心臓について”
名古屋大学第一内科
林 博史 氏 (紹介 和田君)